

議事録（概要）

会議名	令和2年度 第2回芦屋町行政改革推進委員会					
会場	芦屋町役場3階 31会議室					
日時	令和2年8月31日(月) 10:00~11:00					
委員の 出欠	会長	占部 吉郎	出	委員	安部 知彦	出
	副会長	片山 和夫	出	委員	国崎 重太	出
	委員	中山 孝泰	出	委員	入江 翔悟	出
	委員	藤崎 隆子	出	委員	中西 一美	出
	委員	執行 明子	出	委員	川上 登美江	出
件名・議題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事 議題1「一般会計財政シミュレーション（令和2年度～令和6年度）について」</p> <p>3. その他</p>					
合意事項 決定事項	<p>・ 議題「一般会計財政シミュレーション（令和2年度～令和6年度）」について事務局から説明を行い、了承された。</p>					

令和2年度 第2回芦屋町行政改革推進委員会 議事録

日時： 令和2年8月31日(月) 10:00～11:00

場所： 芦屋町役場3階 31会議室

<議題1 質疑応答および意見>

1	委員	P2 一般会計財政シミュレーション(令和2年度～令和6年度)について 歳入の臨時財源である「モーターボート競走事業収入(繰入金)について、令和2年度から7億円繰り入れ、それを令和6年度まで維持しているが、これが増えるといったことがあるのか。どういった見通しとなっているのか。
	事務局	モーターボート競走事業でも財政シミュレーションを作成しており、7億円の繰入金を令和6年度まで維持することは可能という見込みである。現状、モーターボート競走事業の売上は好調であるが、今後を楽観視し、繰入金が増えるというシミュレーションをするのではなく、必要最小限の財政で考えていくこととしている。 なお、繰入金の7億円は、4億円を必要な事業に充て、残り3億円を町の基金に積み立てている。
	委員	6億から増えた1億は公共施設等の維持管理といった目的をもって増やしていると聞いている。その理解でいいか。
	事務局	その理解でよい。計画的に公共施設等を整備するための、公共施設等整備基金を創設した。
2	委員	P3 R1 一般会計財政シミュレーションとの比較 主な増減事項(R2～R6)について 歳出にある「愛生幼稚園の新制度幼稚園への移行等に伴う児童措置費の増」の新制度幼稚園とはどんなものか。
	事務局	新制度幼稚園の詳細については、把握していない。 [参考：後日確認した内容] 新制度幼稚園(私立新制度幼稚園)とは・・・ 子ども・子育て支援新制度を適用した幼稚園のこと。子ども・子育て支援新制度とは、子ども・子育て関連3法(子ども・子育て支援法、認定こども園法の一部改正法、関係法令の整備法)に基づき、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援を総合的、計画的に推進させることを目的とした制度で、自治体が一部運営費を負担する。

3	委員	P3 R1 一般会計財政シミュレーションとの比較 大型事業一覧について 福祉課 高齢者支援系の「老人憩の家建て替え事業」は財政シミュレーションに反映されていないという認識でいいか。
	事務局	実際に検討を進めているが、金額を財政シミュレーションに反映できる段階に至っていないため、反映していない。
4	委員	P2 一般会計財政シミュレーション(令和2年度～令和6年度)について 基金残高が40億円近くになるようにしているが、以前は43～45億円で推移していた。40億円は低く感じる。なぜ減ったのか。また、これで大丈夫なのか。
	事務局	基金が減っている理由は一概には言えないが、例えば教育分野の電子黒板やタブレットの維持管理経費などの経常経費が増えているといった事実はある。スクラップ&ビルドを行うことを原則に考えているが、それが難しく基金の減少につながっている可能性が考えられる。 「40億で大丈夫か」との指摘について、今の段階ではシミュレーションに示すとおり5年間は今とほぼ変わらず運営できると考えている。

<その他>

1	事務局	行政改革推進委員の皆様の任期は、令和3年7月26日までとなっているが、行政改革大綱の計画期間が令和元年度で終了し、5年間のまとめの審議が終わったので、実質、これが最後の会議となる。
---	-----	--------------------------------------------------------------------------------------------